

福岡県ブロック塀等撤去促進事業による 補助制度のご案内

福岡県では、平成30年6月に発生した大阪府北部地震を受け、通学路や避難路等に面する危険なブロック塀等の所有者に、速やかな改善を促すため、県及び市町村が一体となって撤去費用の一部を補助する制度を平成30年10月から開始しました。

災害時におけるブロック塀の倒壊によって、たまたま通りかかった方が亡くなったり、怪我をされた場合、ブロック塀の所有者が責任を問われ、損害賠償の対象となる可能性もあります。また、倒壊したブロック塀が道路を塞いでしまうと、救助・消火活動の妨げとなる恐れがあります。

いつ起きるか分からない災害から命を守る対策として、ブロック塀の安全対策を進めていきましょう。

福岡県では市町村と一緒に、撤去費用の一部を補助しています。
補助制度の有無、対象費用のほか、詳しい内容や手続きについては、
お住まいの市町村へおたずねください。



web で検索

福岡県 ブロック 補助

相談窓口一覧

ブロック塀等の診断や点検方法に関する相談

一般社団法人
福岡県建築士事務所協会 福岡市博多区博多駅東 3-14-18 TEL **092-473-7673**
福岡建設会館 5F

公益社団法人
日本エクステリア建設業協会 福岡市東区若宮 5-9-8 TEL **092-673-0401**
福岡県支部 事務局 ((株) 小山千緑園)

全九州コンクリートブロック工業組合 福岡市博多区博多駅東 1-2-5 TEL **092-413-1636**
日之出ビル博多駅前 901 号室

ブロック塀等の撤去費補助制度に関するご相談

補助制度の有無、補助対象費用のほか、詳しい内容や手続きについては、
お住まいの市町村へおたずねください。

発行・お問い合わせ

危険なブロック塀の撤去と 安全・快適な外構づくりのすすめ

ブロック塀は、プライバシーの確保や防犯・防火など私たちの暮らしを守る重要な役割を果たしています。しかし、近年、大きな地震の際に、危険なブロック塀の倒壊による人的被害が発生しており、通学路や避難路など地域の安全が脅かされています。

私有財産であるブロック塀などの安全性の確保は、所有者の責任です。そこで、本パンフレットは、お住まいの方はもちろん通行中の方の安全を守るため、危険なブロック塀を撤去した後の安全な外構の作り方をご紹介します。



本県発行の下記パンフレットも併せてご覧ください。

「お宅のブロック塀は大丈夫？」

ブロック塀の自己診断を行う際の
チェックポイントをまとめています。

「ブロック塀を詳しく知ろう！」

ブロック塀の基礎知識や診断カルテ、
施工上の注意点をまとめています。

web で検索

福岡県 ブロック塀



危険なブロック塀を撤去したあとの外構のつくり方～事例のご紹介

あなたの家の塀がまちの安全を脅かす可能性があります。倒壊のおそれがある危険な塀を改善し、通行者の安全確保と住まいの快適性や防犯性の確保を両立させましょう。

※整備や撤去にかかる費用は、いずれも平均的な単価を表示しています。グレードや素材、その他条件によって異なりますので、専門家にご相談ください。

フェンス(柵)を使った外構づくりの事例

Before

高すぎるブロック塀は危険!



- 住宅地などでは道路面から塀の上端までの高さが2メートルを超えるブロック塀もあります。
- 敷地の有効利用のため、必要な控え壁が付いていない塀も見られます。
- 人の背丈を超える高さの塀が倒壊すると、通行者の人命をも奪うおそれがあります。

【一般的なコンクリートブロック塀の撤去費用の目安】
1メートルあたり1万円～2万円

After

ブロック塀の上部を撤去し、網タイプの金属製フェンスを設置する



- 見通しのきく金網型のフェンスは、道路からの不審者の侵入を防止しつつ、風通しや日当たりを確保できるため、快適な外構となり、植物の生育を妨げません。
- ブロック塀の上部を撤去し、下部をフェンスの基礎として使うこともできます。
- できるだけ塀を低くすることで、通行者の安全を確保しましょう。

【設置費用の目安】
1メートルあたり1万円～2万円(金網型フェンスのみ)

その他の事例1

ブロック塀の上部を撤去し、目隠しタイプの樹脂製フェンスを設置する



- 目隠し型フェンスは、道路からの視線を遮ることができるため、プライバシーの確保がしやすく、塀のような閉鎖性も解消されます。
- 材質は、樹脂製のほかアルミなどの金属製や木製のものもあります。
- 写真はフェンスの外側に花壇や植栽を施した例です。2段程度の高さのブロックは緑化空間を造るのにも有効です。

【設置費用の目安】
1メートルあたり2万円～3万円(樹脂製フェンスのみ)

その他の事例2

ブロック塀を全て撤去し、アルミ製のフェンスを設置する



- 木目調のアルミ製格子型フェンスを使って、高さに変化を付け、目隠しがほしい箇所に透過性の低いアクリルパネルをはめ込んだ個性的な事例です。
- 既製品を工夫して組み合わせることによって、特徴のある外構を造ることも可能です。
- 軽量なので倒壊時の不安も軽減され、日々の暮らしを安心して楽しむことができます。

【設置費用の目安】
80万円～100万円(あくまでも参考価格です。)

生け垣や植栽を使った外構づくりの事例

Before

ひび割れや傾きが著しいブロック塀は危険!



- 老朽化により、ひび割れや傾きが著しい場合は、災害時に倒壊するおそれがあります。
- 通行者に被害を与えることがないよう、できるだけ早めに撤去してください。

【一般的なコンクリートブロック塀の撤去費用の目安】
1メートルあたり1万円～2万円

After

ブロック塀の上部を撤去し、生け垣を整備する



- 危険なブロック塀を撤去することで、敷地内の植栽が道路から見えるようになり、通行者の安全確保だけでなく、景観の向上にもつなげている事例です。
- 生け垣はプライバシーの確保にも有効です。
- 塀の全てを撤去せず、下部を有効に活用することで、撤去費用をおさえています。

【植栽整備費用の目安】1メートルあたり1万円～2万円

その他の事例3

ブロック塀を全て撤去し、植栽を整備する

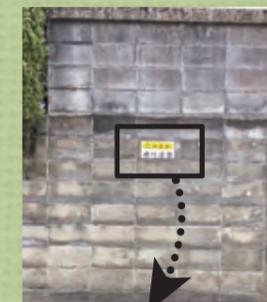


- 大きな窓の正面に木製目隠しパネルを設置し、居住性を高めるとともに、それ以外の部分については、植栽を施しています。
- 道路と住宅の間を高木や低木、あるいは芝生を施し、変化に富む境界部をつくっています。
- 樹木が成長すれば、道路からの視線を柔らかく遮る役目にもなります。

【植栽整備費用の目安】1平方メートルあたり1万円～5万円

下記のような方法で、通行者へ注意を促す表示をしましょう。

危険な塀はいち早く撤去し、安全を確保する必要がありますが、撤去までの間、周囲に危険を知らせることも大切です。



塀が倒壊し、人に被害を与えると塀の所有者が損害賠償責任を負う可能性があります。